

学校だより  
平成27年  
1月28日号

# はるにね

海老名市立  
有馬小学校  
校長 宮原謙二

## 「優しさ」とは

2015年末、新しい一年が始まりました。去年は、大きな災害が多発した一年であったように感じます。そんな中で被災地の人々は、みんなで体を寄せ合い力を合わせて、今も困難を乗り越える努力をしています。今年こそは、一人ひとりにとって幸多い1年であることを願っています。

「思いやり」や「優しさ」という言葉は、よく耳にしますが、このことを子どもたちにしっかりと理解させることは難しいものです。ともすると我々大人でも、自分では優しさと思っていることが、自己満足であったりすることが多いものです。本当の優しさとは何なのでしょう。

「優」という字は、「にんべん」と「憂」という字からなっています。「人を憂うこと」、つまり、相手の悲しい気持ちや辛い気持ちに思いを馳せることが、「優」の漢字の持つ意味です。自分のことだけ考えていると、トラブルや諍（いさか）いが絶えません。ちょっと相手の気持ちを考えることで、周りの人と気持ちよく過ごすことができます。1月の朝会で、子どもたちにこの話をしました。学校生活の中でトラブルになりそうな時に、ちょっと思い出してくれるといいなと思います。

1月は「いく」、2月は「逃げる」、3月は「去る」。昔から、油断をしているとこの3ヶ月はあっという間に過ぎ去ってしまいます。4月からの、新学年に向けて、充実した3学期にしたいと思います。お力添えをよろしくお願いいたします。



## 日本の伝統楽器に触れる 琴・尺八体験

1月15日（木）に、「糸竹舎」と「静山会」の方々にお出でいただき、琴と尺八の体験授業



をさせていただきました。尺八は、音を出すだけでも大変で、6年生は用意してくださった塩ビの尺八で体験させてもらいました。琴は、両手で微かな音の表現をしていきます。

実際に楽器に触れ体験することで、和楽器の奥深さや音色の美しさに触れ、貴重な体験をすることができました。

## 地域の方々とふれ合った 昔遊び



1月19日（月）長寿会の皆様にお出でいただき、1年生が昔遊びを教わりました。

「ほら、こうやってやるといいんだ

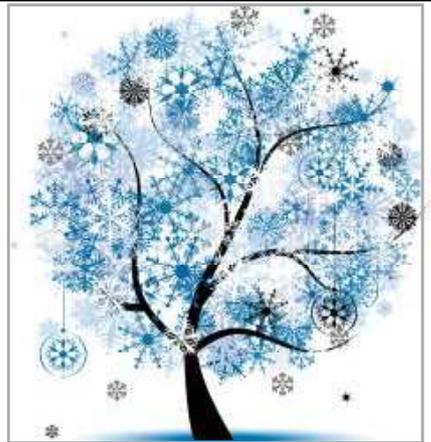
よ！」けん玉や竹馬など、懐かしい遊びのこつをわかりやすく教わりました。1年生の子どもたちも少しずつ上手になり、それが嬉しくて夢中になっていました。

長寿会の皆様との楽しいふれ合いを通して、日本の伝統的な遊びの文化に触れることができました。



# 行事予定

1月	29日(木) 1年学年発表 30日(金) 新入学児童保護者説明会
2月	2日(月) 児童朝会 クラブ活動 9日(月) 朝会 10日(火) 3年学年発表 11日(水) 建国記念の日 13日(金) 授業参観・懇談会1. 2年ひまわり級 16日(月) 朝会 授業参観・懇談会5. 6年 18日(水) 授業参観・懇談会3. 4年



## ありまの歴史6



【大正4年卒業式の様子(有馬小学校)】

### 大正の教育

— 百年周年記念誌より —

大正時代の運動会は、中部七校連合運動会（海老名、座間、大和、有馬、渋谷、御所見、綾瀬）でした。徒競走や遊戯、大玉送り、騎馬戦を裸足で行いました。応援歌があり、他校の校歌を覚えて帰って来ました。有馬は強い方ではなかったたので、優勝はしたことがありませんでした。学芸会は、武井先生のお宅でやられたそうです。

その頃、有馬地区では養蚕業が盛んに行われていました。小作人制度で米を作っている、六俵もとればよい方で、年貢として半分は納めなければならず、現金の収入は全くなかったそうです。

そのような時代ですので、尋常科を終えて高等科へ進む者は半数くらいでした。進級試験はなく、授業料は25銭（1円＝100銭）くらいでした。それまではランプで生活していましたが、大正七年には電気がつきました。この頃の遊びは、男子は竹鉄砲で兵隊ごっこ、女子は正月には羽根つき、普段はお手玉、おはじき、なわとび等を行いました。

## ありまっ子スクールについて

海老名市教育委員会から3年計画で「えびなっ子しあわせプラン」が出されました。その3つの柱は、「①学校教育の充実②海老名型コミュニティスクールの展開③小中一貫教育」です。来年度、有馬中学校区4校（有馬中・有馬小・門沢橋小・社家小）は、小中一貫教育の試行校としてのスタートを切ります。9年間のスパンで子どもたちを育てていこうという取り組みです。子どもたち一人ひとりにとって実りある取り組みにしていきたいと思ひます。具体的な計画については、新年度にお知らせしたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

また、その基盤となる「子ども・学校支援事業」を有馬小学校の地域の特性を生かした有馬小学校ならではの事業となるように進めていきたいと思ひます。3年目の活動となる「ありまっ子応援団」の組織・人財・教育力を生かして、着実に進めていきたいと思ひます。

その第1歩として、これまで夏季休業中に活動していたサマースクールを、「ありまっ子スクール（えびなっ子スクールの有馬小版の名称）」として、通年活動として実施していきたいと思ひます。具体的な計画については、2月の懇談会で直接説明させていただきます。趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

